

令和6年10月27日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙公報 (第6区 鴻巣市・上尾市・桶川市)

北本市 埼玉県選挙管理委員会

中根かずゆき プロフィール Kazuyuki Nakane

1969年、鴻巣市生まれの55歳。
 箕田小、鴻巣北中、伊奈学園総合高校、日本体育大学を卒業。
 専修大学大学院法学研究科修了。
 1995年より鴻巣市議会議員(2期)。
 2005年、衆議院議員に初当選。現在5期目。
 内閣府副大臣として、女性活躍・地方創生・防災等を担当。
 外務副大臣、衆議院国土交通委員長のほか、自民党内でも、
 自民党国土交通部長、総務部長、ITS推進・道路調査会
 幹事長などを歴任。
 近年は国土交通行政、特に地域を豊かにする交通インフラ
 整備と、社会を災害から守る防災政策に力を注いでいる。
 妻、娘(小学生~社会人)、息子(大学生)、愛犬とともに
 鴻巣市在住。
 4人の子供を持つ父としての体験を踏まえ、
 現役子育て世代として、
 温もりのある子育て
 支援を提言し続けている。



豊かさを創る

- 道路網や鉄道(高崎線)の整備により雇用を創出するとともに、お年寄りから子どもまで便利で暮らしやすい街を創ります。
- 育児・子育てに関する社会制度を整備し、男女を問わず望む場所で輝ける社会を創ります。

未来を創る

- 4人の子を持つ親としての経験を踏まえ、温もりのある子育て支援により、子どもを産み・育てやすい社会を創ります。
- 憲法に「教育環境の整備」を国の責務として盛り込み、次世代の日本を担う人材の育成に責任を持って取り組みます。

国を守る

- 外務副大臣の経験を活かし、力による現状変更や、領空・領海侵犯を許さずとなく、毅然とした外交を進めます。
- 人員の拡充・装備の最新化など、最前線で働く皆さまに寄り添い、危険や負担の緩和に努めます。

地域・生活を守る

- 近年激化する豪雨災害に対して、これまでの想定を見直し、堤防や貯水池整備など気候変動の時代にも対応できる水害対策を進めます。
- AI等のデジタル技術を活用して、災害の発生を予知したり、危険地域の人に適切な避難を促すなど、すぐに効果のある「命を守る仕組み」づくりを進めます。

「政治は国民のもの」——自民党の立党の精神です。
 国の主権と国民の命が守られ、日々を安心して豊かに生活でき、子どもたちの未来に希望が持てる、そんな政治を実現することが使命と信じて活動してきました。
 自民党が謙虚さを取り戻し、もう一度、国民の皆さまに信頼いただくためにも、私、中根かずゆき自身も初心にかえり、着実に、皆さまお一人おひとりの声を反映・実現する政治に、今後とも人生をかけて覚悟です。

初心にかえり、人生をかける政治。

元外務副大臣、元内閣府副大臣
埼玉六区(鴻巣市・上尾市・桶川市・北本市) 自民党支部長



裏金・多選 廃止 政治に信頼を取り戻す!

ほそや みえこプロフィール

- 県立熊谷女子高等学校卒業
- 中央大学法学部卒業
- アメリカ合衆国在住5年
 (文科省認定)日本語補習校理事 9.11 テロに遭遇
 生徒の安全確保に奔走
- 市議2期 議会運営委員会委員長 旧態依然の議会を大改革
- 夫、息子2人(独立) 家族 現在親の介護中

維新がやってきた身を切る改革
 維新の国会議員団が被災地に寄付した金額
→ 6億7,146万円 (令6年8月現在)

1 政治腐敗を浄化

議員特権の可視化、議員定数の大幅な削減

- 企業団体献金と政策活動費の廃止。
- 旧文書通信交通滞在費など議員特権の可視化と見直し。
- 議員定数の大幅な削減。●世襲制限を断行する。

2 世代間不公平を打破する

現役世代に不利な制度を徹底的に見直す

- 現役世代の社会保険料負担軽減。
- 年金は積立方式または最低所得保障制度の導入など、進める。

3 可処分所得を倍増させる

減税と規制改革 消費税8%へ!

- 消費税・所得税・法人税の「フロー大減税」を断行。
- 個人消費と企業投資を促進して経済成長を加速。
- 労働市場の流動化、既存産業への参入障壁撤廃。
- 既得権に囚われない大胆な規制改革で産業を成長させ、給料を飛躍的に伸ばす。

4 所得制限のない教育無償化

完全無償化を実現

- 義務教育に加えて幼児教育・高校において所得制限のない完全無償化を実現。
- 大学・大学院などの改革と合わせて、教育の全課程の無償化及びそれを通じた教育の質の向上と教育機会の創出を目指す。



日本維新の会 / 新人



比例代表も、維新へ / 子育て介護の応援団

私は公算という制度を通じて政治の世界に入り、国会に臨んで政治家間の合意形成を図る際、会社で培った本音を見抜く力と忍耐力が大いに役に立っています。
 また、東西冷戦下、3年半にわたる西ドイツでの勤務経験は、現在の国際情勢を直感的に理解する助けとなっています。かつてサラリーマンとして仕事が出来たことに感謝しています。

日本の一人当たりの国民所得は、韓国や香港よりも低く、世界的な資源高や食糧高に対応できていない。企業が内部留保を優先するのはなく、給与の引き上げを優先すれば、消費の拡大が期待でき、海外の給与水準に近づくことも期待される。また、年金は物価や賃金インフレーションの創出
 日本では過去30年間にわたり、国の研究開発投資と国民の給与所得はほとんど増加していない。万、政府はコロナ関係係費として約200兆円を投入した。
 今後の10年間、同規模の予算を教育・職業能力開発、研究開発に継続的に投入することにより、人材育成を図り、産業を創造し、日本発の産業革命を起すことができる。
 震災など、緊急時対応
 日本は、地震の活動期に入っている。ガードマンを見て住む場所を決める時代である。首都直下や南海トラフ地震が発生した場合、緊急対応は数ヶ月にわたる。有事の際には、国土交通省を防災省に改組し、首相官邸と一体化して即応できる体制を整備する。
 能登半島地震など、被災地への支援を継続して取り組む。公教育の充実
 知り合いも教員不足のため、定年後も小学校で担任を続けている。優秀な人材を引きつけるために、学校の働き方改革を進める。
 また、運営費交付金の増額によって、学費を据え置き、質の高い高等教育を提供する体制を整える。国の盛衰は教育にかかっている。

物価を上回る賃金上昇。下請け価格を転嫁する、価格転嫁で賃金を増額、賃金上昇で年金が増額。この循環で経済を再興。
 さらに、政府は過去8年間にわたり、下請け価格の転嫁対策に取り組んできたが、依然として十分な改善は見られていない。その結果、地元企業の賃金改善も進んでいないのが現状である。
 この状況が続く場合、経済法制の見直しを含め、あらゆる政策手段を講じて賃金の引き上げと下請け価格の転嫁を断固として推進する。



大島あつし
 家族を守る力になりたい。

あらゆる人の暮らし、政治とは生活です。
 政治は、声を上げるだけの力が弱い方々、ざりざりで踏みとどまっているので、声を上げる余裕がない方々の声を受け止める、政策を立案し、多くの方の賛同を得て実現することが役割と考えて取り組む決意です。

マイナ保険証の廃止
 従来通りの保険証に戻し、希望があれば、顔認証や生体認証でカードを持たずに医療を受けられる体制を整備する。
 農家を守り、農業を強くする
 学校給食を無償化し、地元産で安全な食材を、生産コストに見合った価格で継続的に調達することで、新規就農者を支援し、後継者が予見性を持って経営できる環境を整える。
 地元社会資本整備
 私が事業化を進めた上尾道路は早期に完成させ、税金誘致を図り、沿線自治体の収入を増やす。また、異常気象に備え、荒川の河川整備を推進する。

に連動しているため、賃金が上がらない限り年金の増額も望めない。
 さらに、政府は過去8年間にわたり、下請け価格の転嫁対策に取り組んできたが、依然として十分な改善は見られていない。その結果、地元企業の賃金改善も進んでいないのが現状である。
 この状況が続く場合、経済法制の見直しを含め、あらゆる政策手段を講じて賃金の引き上げと下請け価格の転嫁を断固として推進する。

いまこそチェンジ! 自民党裏金政治

共産主義こそ人間の自由が花開く社会
 資本主義が労働者から搾取しているのはお金だけではありません。人間として成長するために必須の「自由な時間」。私たちがめざす共産主義は、この奪われた「自由な時間」を取り戻し、人間らしく生きられる社会です。

希望の政治へ、ぶれない。

- 大企業・大金持ち優遇から、暮らし優先**
 - 賃上げと時短を●高すぎる学費値下げ●年金削減・医療改善は許さない●コメ不足・価格高騰対策
- 戦争国家づくりSTOP!! 外交の力で平和を**
 - 憲法壊すな●大軍拡反対●日米軍事同盟強化より東アジア平和提言を
- 気候危機打開はまったなし**
 - 試金石は石炭火力・原発NO●省エネ・再エネ推進
- ジェンダー平等求めるムーブメントを**
 - 選択的夫婦別姓を! ●男女賃金格差なくそう

比例代表は 日本共産党 とお書きください

私は今、3人の子供を育てながら働いています。学費の負担が重すぎて、きついと思うことも。ふつうに働き暮らすことがとても難しい。大企業のもうけを増やすための自民党政治から、暮らしを守る自民党政治へ、自由な時間を保障する新しい政治に変えましょう。

プロフィール
 ◎1976年生まれ◎大東文化大学国際関係学部(ウルドゥー語専攻) 卒◎上尾市議3期、県議1期◎家族は夫と子3人



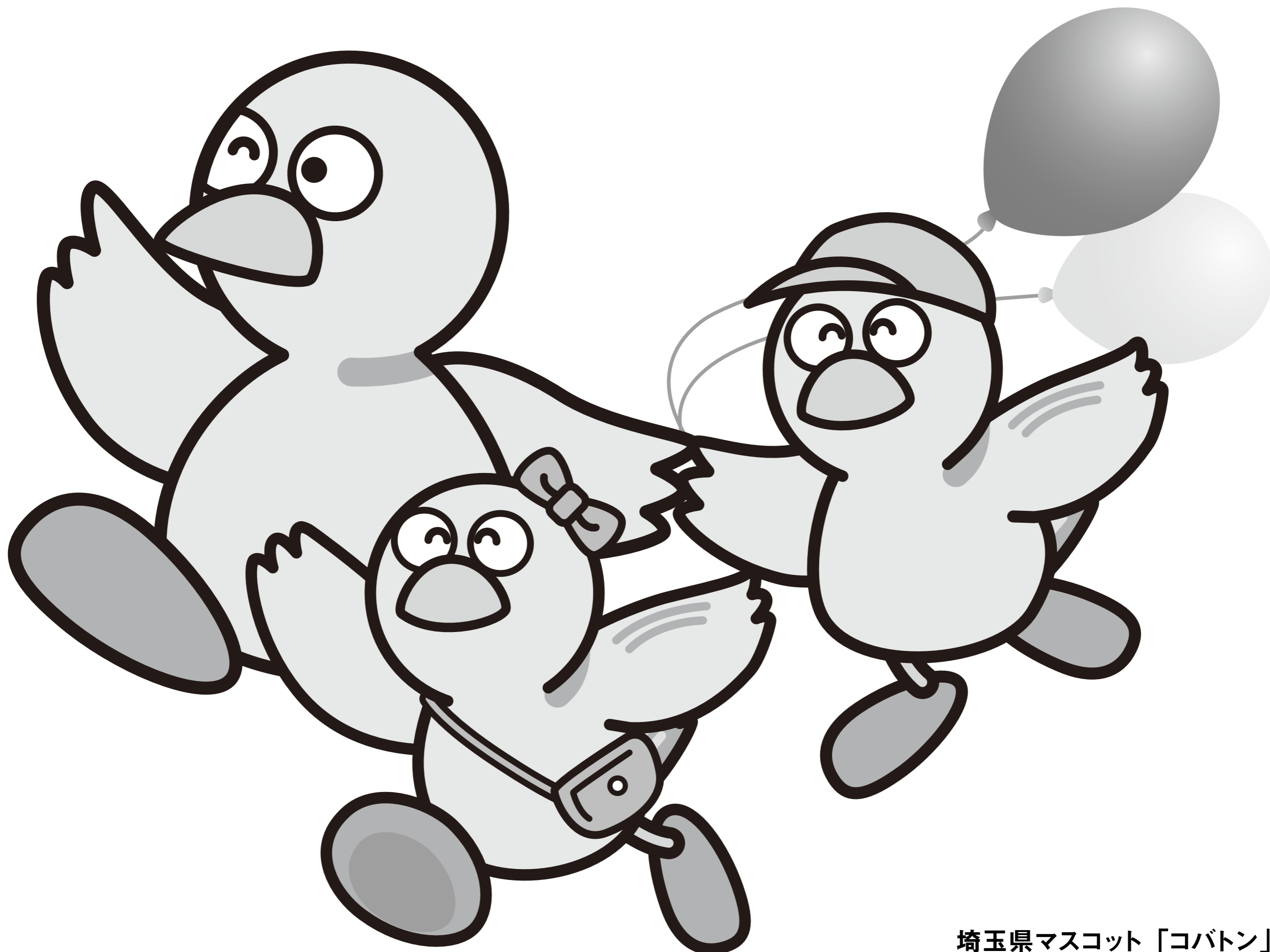
日本共産党埼玉6区候補者

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真にとり、印刷したものです。

投票日 10月27日（日）

投票時間 午前7時から午後8時まで ※投票所により異なる場合があります。

親子で投票にいこう



埼玉県マスコット「コバトン」

仕事や旅行など投票日に予定のある方は、期日前投票をご利用ください。
詳しくは、お住まいの市区町村選挙管理委員会へお問い合わせください。

期日前投票期間 10月16日（水）～26日（土）

午前8時30分～午後8時

埼玉県選挙管理委員会の特設ページでは、期日前投票所の混雑状況や候補者情報など様々な情報を発信しています。

埼玉県選管

検索



埼玉県選挙管理委員会